

第169回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年4月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人口 | | | 世帯 | | |
|-----------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人数 | 前年同月比 | 前月比 | 世帯数 | 前年同月比 | 前月比 |
| 中心部 | 9,742 | -0.05 | 0.40 | 4,065 | 1.14 | 0.41 |
| 東部地区 | 14,319 | -0.50 | 0.18 | 5,661 | -0.01 | 0.71 |
| 西部地区 | 10,726 | -0.96 | 0.25 | 4,020 | -0.07 | 0.44 |
| 駅南地区 | 6,307 | -1.49 | 0.35 | 2,691 | 0.33 | 0.93 |
| 半田地区 | 3,627 | 0.00 | 0.52 | 1,370 | 0.73 | 1.63 |
| 横山地区 | 5,661 | -0.28 | 0.05 | 1,873 | 0.80 | 0.53 |
| 茨目・田尻地区 | 6,984 | 0.72 | 0.04 | 2,350 | 1.51 | 0.21 |
| 荒浜地区 | 5,088 | -0.93 | -0.29 | 2,004 | 0.00 | 0.14 |
| その他地区 | 20,817 | -1.76 | -0.17 | 7,173 | -0.16 | -0.12 |
| 西山町地区 | 6,319 | -0.31 | 0.03 | 2,132 | -0.09 | 0.09 |
| 高柳町地区 | 1,943 | -1.96 | 0.10 | 846 | 0.59 | -0.23 |
| 柏崎市計 | 91,533 | -0.78 | 0.10 | 34,185 | 0.29 | 0.38 |
| 刈羽村 | 4,899 | -1.07 | 0.18 | 1,562 | 0.83 | 0.90 |
| 小国地区（長岡市） | 6,357 | -2.07 | -0.31 | 2,138 | -1.01 | -0.14 |
| 出雲崎町 | 5,160 | -2.08 | -0.07 | 1,812 | -0.49 | 0.05 |
| 合計 | 107,949 | -0.93 | 0.07 | 39,697 | 0.21 | 0.36 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で725人、0.78％、刈羽村で53人、1.07％、小国地区（長岡市）で135人、2.07％、出雲崎町で110人、2.08％とそれぞれ減少し、全体では1,023人、0.93％の減少となった。また、前月比においては、小国地区で20人、0.31％、出雲崎町で4人、0.07％と減少したものの、柏崎市で92人、0.10％、刈羽村で9人、0.18％、と増加したことから、全体では77人、0.07％の増加となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で22世帯、1.01％、出雲崎町で9世帯、0.49％と減少したが、柏崎市で102世帯、0.29％、刈羽村で13世帯、0.83％と増加し、全体では84世帯、0.21％の増加となった。また、前月比においても、小国地区で3世帯、0.14％と減少したが、柏崎市で131世帯、0.38％、刈羽村で14世帯、0.90％、出雲崎町で1世帯、0.05％と増加した結果、全体では143世帯、0.36％と増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前月比 | |
|----------|-------|------|-------|-------|--------|--------|
| | | | 柏崎 | 県 | 柏崎 | 県 |
| 月間有効求人 | 983 | | 57.78 | | -10.22 | |
| 月間有効求職者 | 2,704 | | 41.94 | | 3.20 | |
| 月間有効求人倍率 | 0.36 | 0.51 | 0.03* | 0.19* | -0.06* | -0.01* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が983人と前年同月比で360人、57.78％の増加、前月比では112人、10.22％と減少している。

一方、月間有効求職者数は2,704人と前年同月比で799人、41.94％の増加、前月比でも84人、3.20％と増加した。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.36倍となり、県平均0.51倍と比べて0.15ポイント大幅に下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が425人と前年同月比で2人、0.47％の減少となったものの、月間新規求職者数は842人と前年同月比で2人、0.24％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.50倍となり、前年同月の0.51倍に比べて0.01ポイント悪化している。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成22年4月の年度累計 | |
|-------------|-----------|-------|-------|--------------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅（併用） | 37 | -24 | -1 | 37 | -24 |
| 共 同 住 宅 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 事 務 所 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 作 業 所・工 場 | 1 | 0 | -4 | 1 | 0 |
| 営 業 建 物 | 1 | -3 | 1 | 1 | -3 |
| 公 共 建 物 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| そ の 他 | 14 | 5 | 8 | 14 | 5 |
| 合 計 | 56 | -20 | 7 | 56 | -20 |

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が56件と前年同月比で20件の減少となったものの、前月比では7件増加している。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で24件の減少、前月比ではそのほか8件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が24件、増築が24件、改築が8件となった。また、一般住宅（併用）37件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が26件（うち新築11件、増築13件、改築2件）、市外施工業者が11件（うち新築5件、増築4件、改築2件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 64,898 | -0.45 | -0.15 | 24,100 | 5.03 | -6.91 |
| 電 力 | 10,959 | -3.06 | -1.27 | 38,980 | 12.26 | -6.34 |

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で298口、0.45%の減少、前月比でも103口、0.15%と減少している。一方、電力においても、前年同月比で347口、3.06%の減少、前月比でも141口、1.27%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で1,155kwh、5.03%の増加となったものの、前月比では1,791kwh、6.91%と減少している。一方、電力においても前年同月比で4,258kwh、12.26%と大幅に増加したが、前月比では2,639kwh、6.34%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|--------|-----------|--------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,701,998 | 2.88 | 2.19 | 689,663 | -0.13 | 8.71 |
| 営 業 用 | 264,650 | 7.89 | -11.80 | 121,361 | 6.86 | 6.33 |
| 工 場 用 | 658,430 | 31.55 | -18.34 | 119,034 | -11.89 | -13.08 |
| 官 公 学 校 用 | 472,239 | 20.22 | -30.32 | 70,333 | -2.64 | -12.46 |
| そ の 他 | | | | 135 | 20.53 | 206.81 |
| 合 計 | 3,097,317 | 10.90 | -10.21 | 1,000,526 | -1.09 | 3.59 |

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で304,426m³、10.90%の増加となったものの、前月比では352,312m³、10.21%と大幅に減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加、前月比では家庭用を除くすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で11,109m³、1.09%の減少となったが、前月比では34,689m³、3.59%の増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用、工場用、官公学校用で減少、前月比では家庭用、営業用、その他で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|--------|-------|---------|--------|-------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 84,982 | 3.10 | -0.65 | 88,839 | 3.22 | -2.75 |
| 西 山 | 40,348 | -7.44 | -2.07 | 35,850 | -8.02 | -3.62 |
| 米 山 | 19,276 | -14.08 | -3.33 | 17,713 | -15.37 | 2.69 |
| 合 計 | 144,606 | -2.59 | -1.41 | 142,402 | -2.44 | -2.32 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で3,845台、2.59%の減少、前月比でも2,080台、1.41%と減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で3,574台、2.44%の減少、前月比でも3,396台、2.32%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では西山・米山インターで入口・出口ともに大幅な減少、前月比では米山インターの出口以外の各インターの入口・出口において減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 末 残 | 362,233 | 0.77 | -1.73 | 144,611 | -0.39 | -5.60 |
| 平 残 | 365,832 | 1.86 | 1.87 | 148,709 | -1.31 | -0.43 |

預金は、末残が前年同月比で2,796百万円、0.77%の増加となったものの、前月比では6,407百万円、1.73%と減少している。平残は、前年同月比で6,698百万円、1.86%の増加、前月比でも6,743百万円、1.87%と増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で572百万円、0.39%の減少、前月比でも8,584百万円、5.60%と減少している。また、平残においても前年同月比で1,977百万円、1.31%の減少、前月比でも655百万円、0.43%の減少となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|--------|----------|--------|
| 交 換 枚 数 | 30,783 | -10.79 | -15.41 |
| 交 換 金 額 | 21,835 | -16.65 | -22.75 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 152 | 1,420.00 | 80.95 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 181 | 2,519.36 | 183.88 |

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で3,724枚、10.79%の減少、前月比でも5,610枚、15.41%と減少している。また、交換金額は前年同月比で4,365百万円、16.65%の減少、前月比でも6,432百万円、22.75%の減少となっている。なお、不渡手形は152枚、181百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産3件（前年同月7件、前月5件）、負債総額18億円（同25億円、同27億円）となっている。地区別では、下越地区で1件（新潟市1件）、中越地区で2件（長岡市1件、南魚沼市1件）、上越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、販売業1件となっており、倒産原因については倒産した3件すべてが販売不振となっている。

当月の企業倒産は3件、負債総額で18億円と、前年同月比では件数は4件減少、負債総額では7億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が1件発生している。

県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。企業における企業収益は持ち直し傾向にあり、景況感は緩やかに改善している。個人消費は、弱い動きが続くものの、明るさがみられる。また、雇用面は下げ止まっているものの、引き続き厳しい状況となっている。

景気は緩やかな回復基調にあるものの、本格的な回復にはまだ時間がかかるとみられることから、中小企業を中心とした企業動向には引き続き注意を払う必要がある。